

# ハイリスク薬に関するヒヤリ・ハット

## ～報告回数の多かったハイリスク薬～

ヒヤリ・ハット事例のうち、安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）が1,161回報告されています。

このうち、調剤に関する事例の医薬品は1,024回、疑義照会に関する事例の医薬品は137回報告されています。（集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日）

ハイリスク薬のうち報告回数が多かった販売名及び治療領域は下表の通りです。

調 剤		疑義照会	
販売名	治療領域	販売名	治療領域
ワーファリン錠 1mg	血液凝固阻止剤	ワーファリン錠 1mg	血液凝固阻止剤
デパス錠 0.5mg	精神神経用剤	エクア錠 50mg	糖尿病用剤
プレドニン錠 5mg	免疫抑制剤	アマリール 1 mg 錠	糖尿病用剤
メトグルコ錠 250mg	糖尿病用剤	ノボラピッド 30 ミックス 注フレックスペン	膵臓ホルモン剤
アマリール 1mg 錠	糖尿病用剤	アルマール錠 10	不整脈用剤
メインテート錠 2.5mg	不整脈用剤	ジャヌビア錠 50mg	糖尿病用剤
ジャヌビア錠 50mg	糖尿病用剤	セロクエル 25mg 錠	精神神経用剤
プレドニゾロン錠 5mg (旭化成)	免疫抑制剤	プレドニゾロン錠 1mg (旭化成)	免疫抑制剤
ベイスンOD錠 0.3	糖尿病用剤	プレドニン錠 5mg	免疫抑制剤
プレドニゾロン錠 1mg (旭化成)	免疫抑制剤	ユーエフティ配合カプセル T 100	抗悪性腫瘍剤
ネシーナ錠 25mg	糖尿病用剤	リーゼ錠 5mg	精神神経用剤

注) 外用剤を除く。外用剤のうち、報告回数が多かったものは、血液凝固阻止剤のヒルドイドソフト軟膏 0.3%とヒルドイドローション 0.3%である。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 162 図表3-5、P 169 図表3-10を改変